

平成29年度 決算報告書
(第14期)

国立大学法人鳥取大学
(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,257	10,856	△401	(注 1)
施設整備費補助金	256	268	11	(注 2)
補助金等収入	152	1,303	1,150	(注 3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	34	34	(注 4)
自己収入	25,264	26,143	878	
授業料、入学料及び検定料収入	3,443	3,417	△25	(注 5)
附属病院収入	21,275	22,049	774	(注 6)
雑収入	546	676	129	(注 7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,458	2,135	676	(注 8)
引当金取崩	19	32	13	(注 9)
長期借入金	458	454	△3	(注 10)
計	38,868	41,228	2,360	
支出				
業務費	34,992	35,458	466	
教育研究経費	14,302	15,187	885	(注 11)
診療経費	20,689	20,270	△418	(注 12)
施設整備費	715	757	42	(注 13)
補助金等	152	1,303	1,150	(注 14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,458	1,579	120	(注 15)
長期借入金償還金	1,549	1,542	△6	(注 16)
計	38,868	40,640	1,772	
収入－支出	-	587	587	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算額には業務達成基準が適用されて繰越予定の金額が含まれているため、予算金額に比して決算金額が401百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算額に計上していなかった補助金の受入により予算金額に比して決算金額が1,150百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算額に計上していなかった交付金の受入により予算金額に比して決算額が34百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、主に検定料収入が減少したことから、予算金額に比して決算金額が25百万円少額となっています。
- (注6) 附属病院収入については、主として外来診療単価の上昇、入院患者数の増加による増収により、予算金額に比して決算金額が774百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、受託事業費等及び科学研究費補助金間接経費収入の増加により予算金額に比して決算金額が129百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階では予定していなかった民間等からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が676百万円多額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、附属病院特定任期付職員の退職者数の増加により、予算金額に比して決算金額が13百万円増額となっています。

- (注10) 長期借入金については、事業計画の変更による借入額の減少により、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっています。
- (注11) 教育研究経費については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費が追加交付されたことに伴い、執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が885百万円多額となっています。
- (注12) 診療経費については、経費抑制に伴い執行額も減少したために予算金額に比して決算金額が418百万円少額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,150百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注9)に示した収入の増加に伴い、執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が120百万円多額となっています。
- (注16) 長期借入金については、金利変更等償還計画の変更により予算金額に比して決算金額が6百万円少額となっています。

○「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額312百万円。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。